

令和4年 労働災害発生状況 (令和5年1月末速報値)

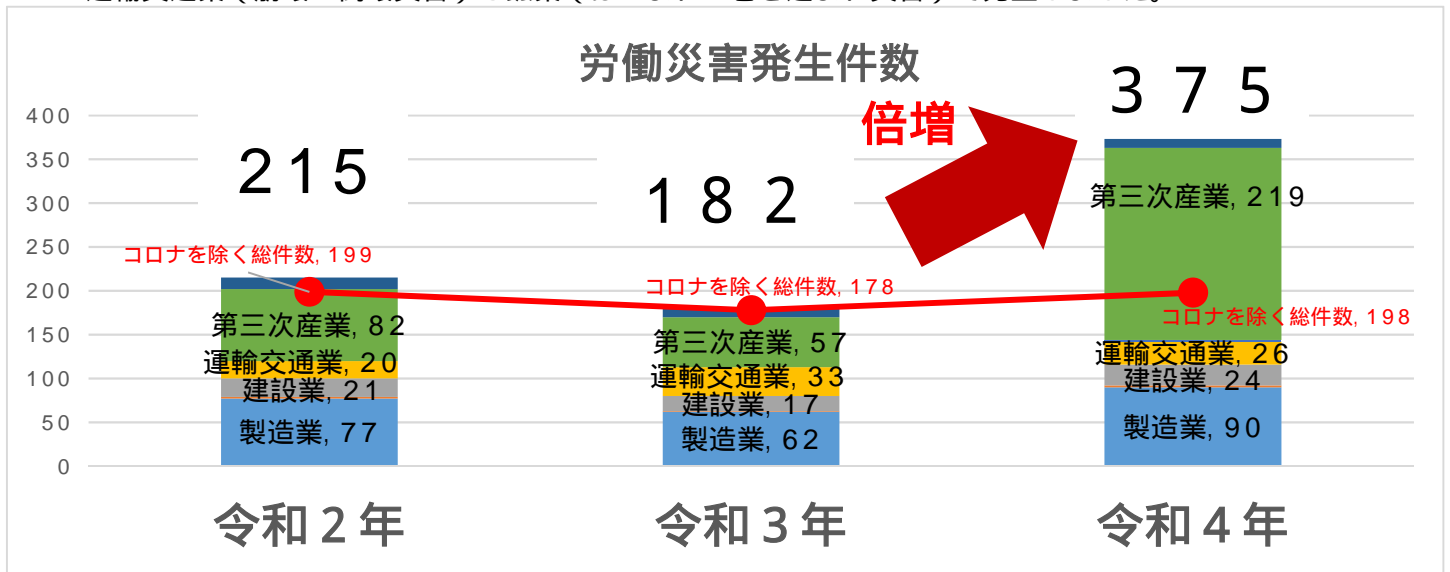
過去30年間で最も多い

令和4年は**笠岡労働基準監督署管内で375件** (休業4日以上労働災害) 発生。

新型コロナウイルスを除いた件数は**198件**で過去20年で最も多かった令和2年に迫る状況。

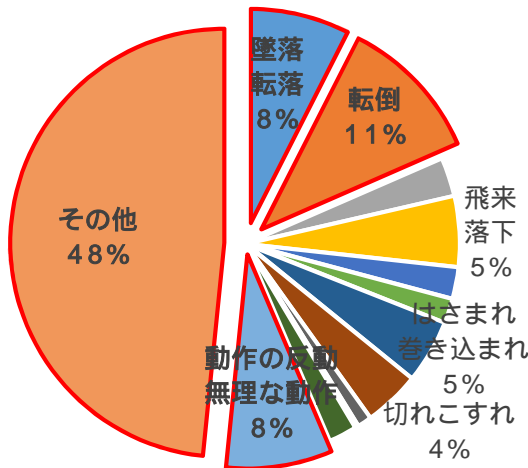
死亡災害も2件(前年0件)発生。

運輸交通業(崩壊・倒壊災害)と鉱業(はさまれ・巻き込まれ災害)で発生しました。



(令和5年1月末速報値)

事故の型別



事故の型別

新型コロナウイルスを含む「**その他**」が**最多!**

新型コロナウイルスを除くと「**転倒**」が**最多!**

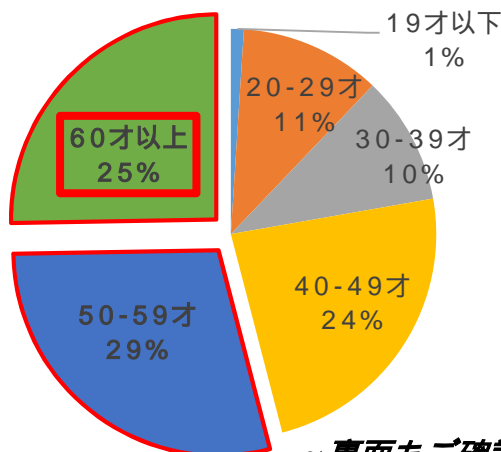
「**墜落・転落**」災害も多く発生!

「**動作の反動・無理な動作**」の発生件数は**5年連続増加!**

5年前の**2倍以上に!**

被災者年齢別

(新型コロナウイルス感染症を除く)



被災者年齢別

60才以上の方が被災する割合が全体の約1/4!

50才以上では全体の半数以上!

~裏面もご確認をお願いします。~

事業者のみなさまへ

令和4年は笠岡労働基準監督署管内において労働災害が多発した年となり、新型コロナウイルス感染症を除いた件数でも、過去20年間で最も多かった令和2年に迫る状況となっています。

労働災害を防止するためには、基本的な安全衛生活動などの取組を徹底するほか、事業場ごとに違うさまざまな課題・問題点を確実に改善へ向けて取り組む必要があります。労働災害の撲滅に向け、これまでの安全衛生に関する取組状況について、見直しや取組の強化を図るようお願いします。

引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に留意し、労働災害を発生させないために、事業者の皆さま、従業員（労働者）の皆さまが協力して全員で取組を推進してください。

転倒災害を防ごう！

転倒災害の多くは「滑り」、「つまづき」、「踏み外し」によって発生しています。

作業場所の整理・整頓、作業場所の清掃、転倒予防の運動などを行い、転倒災害を防ぎましょう。

STOP! 転倒災害

プロジェクト

STOP! 転倒

検索

腰痛を防ごう！

介助作業時、荷物の移動作業時に多く発生しています。

職場における腰痛予防対策

検索

チェックシート、啓発資料・リーフレット、転倒・腰痛予防！「いきいき健康体操」等の情報を利用して腰痛災害を防ぎましょう。

墜落・転落災害を防ごう！

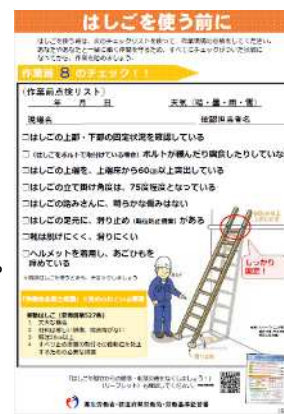
階段や開口部などからの墜落、トラックからの墜落の他、

「脚立」や「はしご」といった用具からの墜落災害も多く発生しています。これら用具は、容易に使用できますが、適切に使用していないことが原因で災害が発生することがあります。

作業前にチェックリストを用いて点検して使用しましょう。

はしごを使う前に リーフレット

検索



高齢労働者の災害を防ごう！

高齢労働者は身体機能が低下することなどにより、若年層に比べ労働災害の発生率が高く、休業も長期化しやすいことがわかっています。

職場環境の改善、高齢労働者の健康や体力の状況の把握、高齢労働者の健康や体力の状況に応じた対応、安全衛生教育などを進めて、働く高齢者の特性に配慮したエイジフレンドリーな職場を目指しましょう。

エイジフレンドリーガイドライン

検索